

## 市民の皆様へ

市内における新型コロナウイルス感染症の新規感染者につきましては、7月中旬からの急増により、8月以降、1週間あたり900人台で推移しており、8月21日から27日までの第4週は、980人と過去最多となりました。依然として厳しい状況が続いています。北海道内における10万人あたりの自宅療養者については、1日1,000人を超える日が続いたこと、また、入院している方を含め、今もなお多くの方が感染により苦しまれていると拝察しており、一日も早い回復をお祈り申し上げます。

北海道は、8月末までとしていた「B A. 5対策強化宣言」を、9月末まで延長することとしました。日常生活においては行動制限を設けず、感染拡大に留意していくという方針下において、最も有効となるのは、密を避ける、会話時のマスク着用、換気、手指消毒などの基本的な感染防止行動です。安定した市民生活を送るため、皆様一人一人の実践をお願いいたします。

コロナ禍で3年ぶりに開催された夏まつりについては、実行委員会など関係者皆様のご尽力と、市民の皆様一人一人の感染対策へのご理解とご協力により、無事実施の運びとなりました。今後も、様々なイベントや人が集まる機会が多くありますので、十分に感染対策を講じながら参加していただくとともに、普段会わない方や、重症化リスクの高い高齢者、基礎疾患のある方などと会う場合は、より一層、感染防止への配慮をお願いいたします。

また、これからの季節は1日の寒暖差が大きくなりますので、体調の管理には十分留意してください。寒さから常時換気が難しい場合は、機械換気や定時換気、換気扇の活用などにより、ウイルスの滞留を防止する取組を行っていただきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症を取り巻く環境は日々目まぐるしく変化しています。市としましては、市民の皆様の健康と安心を確保するため、感染状況はもとより、国や北海道の動向を注視していくとともに、オミクロン株に対応したワクチン接種体制の整備をはじめ、千歳保健所等と連携した対策を講じていくほか、経済対策についても検討を進めてまいります。

重ね重ねのお願いとなりますが、市民の皆様におかれましては、引き続き、基本的な感染防止行動の徹底をお願いいたします。

令和4年9月1日

千歳市長 山口 幸太郎